

## 大高 翔 講師（市会議員、28 歳）

### <略歴>

- ・平成3年生の28歳。國學院大學神道文化学部神道文化学科卒業後、奈良県の春日大社に奉職し、伯母の逝去により後継として孫ターン。
- ・檜山神社 第21代宮司 他、市内20社兼務宮司
- ・元祖檜山茶大高園 20代目園主
- ・大高書道教室代表
- ・移動販売車「OYASHIRO COFFEE」代表
- ・能代市バドミントン協会理事 ・秋田県バドミントン協会理事
- ・秋田県神道青年協議会理事・檜山地域まちづくり協議会理事、檜山茶保存会理事など
- ・能代市議会議員1期目



キラキラフェスタ開催

### <能代への思い>

大高家の跡取りとして、能代に骨を埋める覚悟で「孫ターン」して数年。はじめは政治に興味はなく、見聞を広めるため、各地の講演会へ積極的に参加。また「檜山茶」を通して県内外から能代へ来てもらう活動をしてきました。そして神主という立場からも、直接地域の現状を見聞きし「このままの能代市では、加速度的に寂れてしまう。」と市政にも関心を持って行動するようになりました。

私は地域住民と意見交換ができるという本業の利点を大いに活かし、市全体はもとより田舎の声も市政へ届けていきたいと考えています。また議会で感じたことは、「議会が今の状態では市は変わらない。」「議会と同時に議員の質も上げていかねば。」ということです。

私のスローガン「先を見すえ、次世代を創る」は、これから能代市に住み・働き・生きていく、未来の市民が住みやすい街づくりをとの思いから掲げました。「バスケの街」、「宇宙の街」あるいは「木都能代」、「ネギの街」、「風力の街」。一貫性のない街づくりに市民の大半が不安を感じていると思います。街づくりというのは、長い年月をかけて変えていくものです。「今」ではなく「これから」を考えていかねばなりません。若輩者ですが、果敢に挑戦していきたいと思えます。



伐採作業

## 落合 康友 講師（市会議員、33 歳）

### <略歴>

檜山地区出身・在住。能代商業高校卒業、東海大学文学部英文科に進学。在学中モンゴルの旅で大きな感銘を受ける。農耕に目覚め大学中退するも、その後は音楽活動をしながらフリーター生活。大学に再入学し卒業後はインド・ブータンへの旅。帰国後は四国遍路に挑戦し結願。代々木公園でのホームレス生活を経て、郷土再興の志を持って2013年帰能。翌年に市議選に立候補し初当選。現在2期目。南九州の伝統楽器ゴッタン三味線の弾き語りや、自給自足生活を目指した自伐林業、自然農をライフワークにする。現在33歳。

### <政治信条等>

森を再生させ、森と共生し、森を中心に発展する能代。目指すは自給自足型の社会。

### <所感>

山里での自給的生活と政策を絡めながら、30代政治家の本音の思いをお話します。

## 佐藤 智一 講師（市会議員、42 歳）

### <略歴>

- ・妻と娘（4歳）の3人暮らし
- ・能代南中学校卒 ・国立秋田工業高等専門学校 環境都市工学科卒
- ・建設省 東北地方整備局 新庄工事事務所入省（砂防担当）
- ・退職後、大阪市内でWEB制作会社に勤務 ・30歳で能代市に戻りWEB制作会社を設立
- ・36歳で無所属で初出馬し、現在2期目 ・昨年9月に日本維新の会入党（一般黨員）



ロボット制作中

### <仕事>

- ・ソキューホールディングス合同会社（WEB制作等） ・有限会社千秋会（通所介護等）
- ・一般社団法人のしろ若者自立支援機構（不登校児童生徒支援・ボランティア）

政治スタンス：「よりいいもの」を軸に是々非々の姿勢で提案、審査を行う。

目指す議会像：情報公開の徹底（委員会の会議録公開等）、住民参加の機会増、議員間での政策協議力を入れている政策分野：子育てしやすい地域づくり、福祉（高齢者、障がい者、児童）、防災  
地域に不足しているもの：トライ&エラーの精神

将来の夢：ICTによる視覚障がい者の生活支援